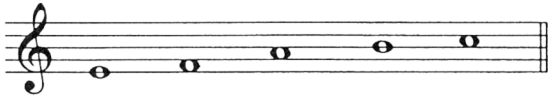


(3) 日本の音階を使って即興創作をする。(展開その1)

みやごし
都節音階を使って

※ 日本の音階のとらえ方には諸説あるが、ここでは小泉文夫氏の種類によるものを取り上げた。なお、楽譜は相対音高で示していて、移調が可能である。



箏曲や三味線音楽などでよく使われる都節音階の5音を使って、下の3つの方法で即興創作をします。

ア 2面1組になり、4拍ずつ交互に即興で演奏します。(問答形式)

a <即興の例>

↑ ↓

b

箏a 箏b 箏a 箏b

イ 1面4拍ずつの演奏をつないでいきます。(リレー形式)

a

↓

b <即興の例>

↓

c

↓

d

⋮

箏a 箏b 箏c 箏d

ウ 1面の即興に、別の即興を加えていきます。全体で5～6面までが適当です。(多声形式)

a <即興の例>

+

b

+

c

+

d

⋮

箏a

箏b

箏c

箏d